

## 神奈川県水産総合研究所研究報告投稿規定

以下の項目について改訂する。

### 内 容

報文は原著論文（一般報文、短報、総説）、研究情報など、水産業振興や水族生態、水域環境などに関するものとする。

### 原稿の受付

原稿の書き方に則しA4用紙で作成し、表紙、本文、図表を各3部と、水総研研報投稿カードをそえ編集委員に提出する。

### 報文の受理

報文は編集委員会が承認した2名の校閲者から、掲載が可となったのち、Wordにて作成した表題、著者名、英文表題、英文著者名、英文解説（Abstract：なくても良い）を現行印刷物のページ幅とし、本文と図表、摘要（なくても良い）、引用文献、英文摘要（なくても良い）を、2段組で1段25字×52行とした、そのまま印刷できる状態のものを1部、および原稿を1部提出すること。

### 原稿の書き方

原稿はWordを用いてA4用紙に11ポイントで、和文では25文字×22行、英文では10語×22行で作成する。また、全てのページにページ番号を付する。句点には「。」を使い、読点には「，」または「、」を用いる。

### 引用文献

本文中の文献引用は以下の例に従い、肩カッコで番号を半角で付ける。また、3名以上のものについては、「...他」「...et.al」とし、同文章での引用が複数の時は1,2)の様にする。数値は1桁は全角、2桁は半角とする。

（例）

1...山田・森<sup>1)</sup>は、...YAMADA・MORI<sup>1)</sup>は、...MOCHIOKA et al.<sup>1)</sup>は

2...と考えられる<sup>1,2)</sup>。

上記のような2種類の表示として、本文中に（山田<sup>1)</sup>）のようにカッコを付けた表記はしない。

引用した文献の配列は引用順とし、順次番号を付け、同一著者の同一年の発表については年号の後にアルファベットを付けて区別する。続いて引用する同一著者名は「」のように、同じ雑誌が並ぶときも、同誌（ibid.）などと略してはならない。

ただし、同一機関発行の同一文献を累年にわたって引用した場合は、以下のように略しても良い。

（例）

神奈川県水産試験場(1973-77)：昭和47-51年度漁況海況予報事業結果報告。

各文献は次の形式にのっとり、下記の例にならって記載する。（年号）は半角とし、巻は太字とする。ページは11-25の様に半角で表示する。句点の「，」や「。」は全角とする。

雑誌の場合 著者名(年号)：論文表題，掲載雑誌名，巻(号)，ページ。

単行本の場合 著者名(年号)：執筆章名，「書籍名(編者等)」，出版社，出版地，ページ。

全文の引用は、編者(年号)：書籍名，出版社，出版地，総ページ数。

(例)

- 1) 山田一郎・田中明・鈴木正雄(1975)：東京湾の水質について，水産海洋研究，20，25-32．
- 2) YAMADA I，TANAKA A and SUZUKI M(1975)：On the water quality of Tokyo Bay, Bull. Japan. Soc. Fish. Oceanogr., 20,25-32.
- 3) 阿部宏喜(2000)：イカの呈味成分，「イカの栄養・機能成分（奥積昌世，藤井建夫編著）」，成山堂書店，東京，61-85．
- 4) 奥積昌世，藤井建夫編著(2000)：イカの栄養・機能成分，成山堂書店，東京，214pp．

私信、未発表などは引用文献の項には記載しない。

規定の適用

この規定は神奈川県水産総合研究所研究報告第8号から適用する。

この規定の改定は、編集委員会の承認を得て行う。

## 神奈川県水産総合研究所研究報告投稿カード

整理番号	受付月日	受理月日		編集部会担当者
論文の種類	<input type="checkbox"/> 一般報文 <input type="checkbox"/> 短 報 <input type="checkbox"/> 総 説			
著者名				
著者英名				
所属名				
論文題名 (和 文)				
論文題名 (英 文)				
<b>提出原稿</b>				
原 稿 枚 数	図 表	表 数	備 考	
印刷の希望：			別刷の希望（有料） （30部は印刷します）	
<b>受理原稿</b>				
原 稿 枚 数	図 表	表 数	備 考	
コメント等				